



令和4年度
第44号
2022. 12.22

六郷

～元気に輝いて～

ペアになって自分の考えを伝え合いました！～授業研究会:1年竹組算数科～

21日には、1年竹組で算数科の研究授業が行われました。子どもたちに出された問題は、「数え棒は何本ありますか」というもの。数十本あると思われる数え棒をどんな方法で数えたらよいかを考える授業でした。子どもたちは、これまでの勉強で活用してきた「2つずつ数える」「5つずつ数える」「10のまとまりにしながら数える」などの考えを使って自力解決をするとともに、その考え方をペアになって伝え合うことを頑張ることができました。

算数の授業において、自分の考えを友達に伝えようとする学習活動は、それまで自分がもっていた考えを整理して、より洗練された考えに深化させることのできるよい機会となっています。聞いている友達も、自分の考えとの共通点や相違点を知り、さらに考えを深めることにもつながります。

1竹の子どもたちは、ペアで説明し合うことにより、これまでの学習してきたことを今回も利用することができることを再確認することができました。このように、友達と関わり合って学んだことは、子どもたちに強く焼き付いていきます。学校での授業を通して友達と交流して学ぶことの大切さを感じさせられた一時間となりました。



【下校時のちょっといい話です】

月曜日、六郷高校方面に帰宅途中の4年生8名の子どもたちが、道路の先に「黒っぽいもの」があることに気付きました。近寄ってみるとおばあさんが倒れていたそうです。子どもたちは、おばあさんに「大丈夫ですか。」と声をかけて起こしてあげたり、大人の人にこのことを伝えようとしたりと自分たちでできる対応をしてくれました。おばあさんは、歩いているとき急に脚に力が入らなくなり倒れてしまったとのことでした。子どもたちの対応の様子を見て車を止めてくれたのでしょうか、ちょうどそこに、女性の方が車から降りて来てくださり、おばあさんからお話を聞いて、自宅まで送り届けてくれることになりました。

子どもたちは、びっくりしたことと思いますが、緊急の事態と察してすぐに対応してくれました。その結果、おばあさんは大事に至らずに済んだようです。相手を思いやり、すぐに自分たちでできる対応してくれた8人の4年生の子どもたちの行動力を誇らしく思えました。

【しみずっ子たちの活躍を紹介します！！⑫】

おめでとう！！

【卓球】

○第45回秋田県スポーツ少年団卓球大会

主催：秋田県卓球協会（令和4年12月18日）

・美郷スポーツ少年団 女子団体1位トーナメント 第3位

※六郷小からは、6年〇〇 〇〇さん 4年 〇〇 〇〇さんが出場